

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果等報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後 における実績値	⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月		実績値	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	安来市版人ロビジョン・総合戦略策定事業	基礎交付	6,677,721	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	指標設定なし								
2	定住窓口ワンストップ化推進事業	基礎交付	7,233,594	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	定住相談件数(定住フェアでの相談も含む) お試し住宅利用件数	100 10	人 件	H28.3 H28.3	172 0	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	引き続き定住相談体制を推進すると共にお試し住宅のPRに努める。
3	3世代世帯定住推進補助事業	基礎交付	12,500,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	助成金活用市内定住者	45	人	H28.3	111	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	追加等更に発展させる	指標値を超え、一定の成果をあげているため、助成内容を拡充し、市内定住者の確保に努める。
4	ふるさと寄附推進事業	基礎交付	2,384,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	新規販路開拓	5	件	H28.3	10	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	引き続き新規販路開拓を行うため
5	福祉専門学校就学補助事業	基礎交付	1,080,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	資格取得者数	15	人	H28.3	3人	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	引き続き介護人材の育成・充実及びサービスの質の向上を図るため
6	生活交通ネットワーク再編調査事業	基礎交付	4,989,600	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	一便あたりの平均乗車数	10	人	H28.3	6.4	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	一定の成果をあげているため、今後も目標達成に努める。
7	生活交通ネットワーク再編事業	基礎交付	1,027,042	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	連携事業件数	3	件	H28.3	1	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	指標値には及ばなかったが、活性化への前進になっているため、最終年度までには目標達成できる見込み。
8	地区公民館活性化事業	基礎交付	1,590,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	地域づくり実践研修会参加者	200	人	H28.3	243	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	27年度初回事業として、研修に意欲的に参加したため、指標値以上の実績となった。今後も実践に伴う有意義な研修ができるよう取り組む。

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後 における実績値	⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月		実績値	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
9	子育て支援サイト事業	基礎交付	2,332,800	指標① メールマガジン登録者数	400	件	H28.3	38	総合戦略のKPI達成に有効であった	アクセス分析なども行い事業検証を行ってもよい。	事業の継続	指標値には及ばないが、事業周知を強化し、今後も子育て情報を広く発信する。	
10	一般不妊治療費等助成事業	基礎交付	1,610,900	指標① 申請件数	60	件	H28.3	59	総合戦略のKPI達成に有効であった	目標に対する実績値は良好だが、そもそものニーズの把握に努めてもらいたい。	追加等更に発展させる	一般不妊治療費助成上限額の拡充と新規に特定不妊治療費への助成を行う。	
11	創業支援事業	基礎交付	9,288,000	指標① 創業支援者数	55	件	H28.3	5	総合戦略のKPI達成に有効であった	廃業された事業所数も把握しつつ継続された。	事業の継続	初めての事業実施であったが、商工団体等と共に取り組んだ結果、一定の成果があったので、事業を継続していく。	
12	誘客推進事業	基礎交付	1,121,040	指標① 山周辺観光施設入込数	20,000	人	H28.3	30,382	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	平成27年度から5年計画で月山富田城の整備が計画されているため、事業を継続していく。	
13	中海・宍道湖・大山圏域観光振興プロジェクト	タイプ I	20,600,000	指標① 圏域への観光客入込数	30,700,000	人	H28.3	28,487,613	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPI達成率 指標①92.8% 指標②125.3% 指標③90.0% ●KPIの達成率では十分な評価にならないのでは。例えば圏域のGDPのような数字が出せるとよい。 ●リーサスの活用を検討してはどうか。 ●圏域のPRはターゲットとマーケットを絞り、インパウンドとアウトパウンドをセットで考える必要がある。 ●プロモーションは押しつけにならないよう、効果的に実施するのがよい。 ●「山陰まんなか共和国」は、認知度が低い。積極的なPRが必要。 ●特定の地域に偏らない、圏域全体を睨んだ事業展開が必要。	追加等更に発展させる	現時点で把握可能なデータでは、目標値を相当程度達成しており、一定の効果があったものと分析している。平成28年度においては、地方創生加速化交付金を活用し、圏域ブランディング体制の整備とブランド確立及び発信に取り組み、更に事業を発展させる計画としている。また、今後は地方創生推進交付金の活用も視野に入れて事業展開を検討する予定である。	
			指標② 圏域での外国人宿泊客数	68,000	人	H28.3	85,250						
			指標③ 山陰いいものマルシェ来場者数	50,000	人	H28.3	45,000						
			指標④										
			指標⑤										
14	みんなで子育て応援事業	タイプ II	1,636,200	指標① 利用者数	300	人	H28.3	230	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	オリジナル婚姻届のPR、お出かけマップ登録事業所の増加、記念品の検討を引き続き行う。	
15	新・ご当地グルメ開発事業	タイプ II	3,240,000	指標① メニュー提供店舗数	5	店舗	H28.3	6	総合戦略のKPI達成に有効であった	特になし。	事業の継続	メニューが完成していないため、事業を継続していく。	